



核兵器禁止条約 50カ国 准批！

来年1月22日に発効 核保有国の手を縛る画期的な国際条約

日本原水協「日本政府も批准を」求める新署名を提起

2017年7月に国連で採択された「核兵器禁止条約」が、10月25日に批准国が50カ国となり、条約の規定で90日後の2021年1月22日に発効します。

この条約は、核兵器の非人道性を告発し、その開発、実験、生産、保有、使用と威嚇など全面的に禁止・違法化するもので、核兵器廃絶へ向けての画期的なものです。

長年にわたり、身を削って国際社会に訴えてきた被爆者と「ヒバクシャ

国際署名」を中心とする草の根運動、世界各地の反核・平和団体の共同の力によるもので、新しい世界の希望・展望を示すものです。

運動の成果に確信をもち、この条約に背を向けている日本政府に批准を迫る取り組みを強めましょう。

10月29日、日本原水協が呼びかけた「署名」を、さっそく県下で取り組みましょう。ヒバクシャ国際署名は、1月のNPT会議まで継続されます。

11月21日(土) 日本平和大会 オンラインで開催

例年開催されている「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地『日本平和大会』」は、コロナ禍を考慮して今年は11月21日(土)にオンラインで開催されます。

■全体集会＝10時～12時。
ゲストはアメリカ、フィリピン、韓国からの3氏と中野晃一さんら。

■特別集会＝14時～16時。
テーマとゲストは、①敵基地攻撃

に向かう自衛隊の大増強にストップをー半田滋さん。②日米地位協定問題を考えるー前泊博盛さん。

「視聴会」は誰でもが参加できます。お気軽に可能な時間帯でオンラインで実施されるため、全国どこでも、だれでもネットを通じて参加出来ます。県平和委員会では、現在以下の所で参加出来るよう取り組みを進めています。

ぜひ気軽に参加されるよう呼びかけます。

○金沢市＝平和町「みのり」2Fと能美市「寺井病院」が確定。「勤医協会館」や能登方面、加賀方面での開催を検討中。

羽咋市議会で採択

「日米地位協定の抜本改定を求める」意見書 県内で3自治体に

日米地位協定抜本改定を求める意見書は、全国で9道県、201市町村で採択されています。

石川県内で、白山市、金沢市に続いて羽咋市議会で採択されました。その他の市町はまだで、

継続審議や否決のところもありますが、引き続き採択へ向け自治体に働きかけていきましょう。

政権交代へ市民連合政策提案

「安保法制の廃止と立憲民主主義の回復を求める市民連合」は、9月25日、政策要望書を野党に提案しました。今回の内容は、19年参議院選挙時の共通政策13項目に2項

12・8 平和を守るつどい

天皇の代替わりと戦争について学び、意見交換します。

日時 12月8日(火)18時～

会場 平和と労働会館3F

お話 牧師 深崎 英之さん

日本キリスト改革派教会金沢教会

いしかわの戦争と平和

記憶の灯り 希望の宙へ

好評発売中！ 周りの方に薦め、戦跡巡りを企画しよう



「戦後75年 二度と戦争をさせないために、石川から未来へ」の願いを込め、県平和委員会と戦争をさせない石川の会が共同で作成したガイドブック「記憶の灯り希望の宙へ」。次世代に戦争の加害と被害を知って欲しいと、県内の学校と図書館に約500冊を寄贈しました。

ブックを活用した現地ガイドや学習会も始まっています。

10月15日、佐藤公男さんが新婦人小松支部の学習会で話題提供。

10月18日、平和町九条の会で山野健治さんが「野田山墓地」を案内。

10月19日、健生クリニック職員学習会で山野さんが話題提供。

11月10日、佐藤さんの案内で、新婦人平和部会が「津幡・卯辰山」を訪ねました。

目を加えたもので、さらに充実したものとなっています。(同案の骨子は裏面に掲載)

今後1年以内に行われる衆議院選で野党と市民の共同で闘う政策的な土台ができました。野党連合政権を視野に入れ、共同の闘いで政権を交代させようではありませんか。

ウラにつづく